

「尼崎 21 世紀の森づくり行動計画(改訂版)」の中間年評価について

～来年度以降の協議会のテーマについて(森構想エリアの変化、森構想の進捗状況など)～

1.趣旨

- 平成 13 年度に策定された「尼崎 21 世紀の森構想」の理念を具体化するため、平成 16 年度に「尼崎 21 世紀の森づくり行動計画」、平成 28 年度に「尼崎 21 世紀の森づくり行動計画(改訂版)」が尼崎 21 世紀の森づくり協議会により策定された。この間、県・市の施策推進や県民・企業の参画による森づくり活動の取組により、国道 43 号以南の臨海地域（以下「森構想エリア」とする）の環境は変化してきている。
- そこで、平成 31 年度（2019 年度）以降の尼崎 21 世紀の森づくり協議会では、森構想エリアがどのように変化したか、その詳細を把握するための調査を行うとともに、事業及び各取組の成果と課題を整理し評価する、「尼崎 21 世紀の森づくり行動計画(改訂版)」の中間年評価を行う。
- このため、今回（平成 30 年 2 月 20 日）の協議会では、森構想エリアにおける森構想策定以降の自然景観、社会基盤整備の状況の変化や、住民、工場従業員等の暮らし及び参画・協働の取組の変遷などを把握するための、調査の手法及び進め方、また、尼崎 21 世紀の森づくりの各取組に関する現段階の評価の視点、改善の視点などについて諮るものとする。

2.次年度(平成 31 年度)以降の協議会の進め方(案)

平成30年度協議会(平成31年2月20日)

次年度以降の調査の手法及び進め方、また、尼崎 21 世紀の森づくりの各取組に関する現段階の評価の視点、改善の視点



(案)

平成31年度(2019年度)以降の協議会

(1) 現況調査

- 尼崎 21 世紀の森づくり構想に示されている「環境」および「まちづくり」等の項目ごとに構想策定当時の状況及び課題、構想の方針・目標を整理し、各種調査データを収集・整理し、構想策定当時から現在までの森構想エリアの変化の詳細を把握する。

(2) 評価

- 調査により把握した自然景観、社会基盤整備の状況の変化や、住民、工場従業員等の暮らし及び参画・協働の取組の変遷などに関して、評価の考え方や指標*などを検討したうえで、量的または質的な評価を行う。

※例：SDGs（Sustainable Development Goals の略称）の視点など

世界が 2016～30 年までに達成すべき 17 分野の国際目標であり、地球環境に配慮しながら持続可能な暮らしや社会を営むための目標。【P2 参照】

(3) 森構想の推進に向けた改善点の検討

- 上記に関する現段階の課題をもとに、施策や取組の改善点を検討する。

(4) 今後の展望の検討

- 次のステージにおける「環境改善」や「都市再生」をテーマとした今後のまちづくりの方向性を検討

 **SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**



尼崎 21 世紀の森づくりの進捗状況 (平成 31 年 2 月現在)

参考資料

運河のまちづくり
 全国運河サミット in 尼崎 2018、うんぱくの開催等
 ・各種団体や学校等との連携による
 ・うんぱく～尼崎運河博覧会～の開催

21 世紀の尼崎運河再生プロジェクト
 ・レンタサイクル等の社会実験の実施
 ・フォーラム、シンポジウムの開催
 ・尼崎ライオンズクラブ桜苗木植樹

水質浄化施設
 ・水質浄化、水上散歩、環境体験学習、尼崎運河〇〇クラブ
北堀キャナルベース
 ・環境学習、運河まちづくり活動の拠点

県・市・徳島大学の連携協力協定の締結
 ・尼崎運河における水環境改善等の推進についての県・市・徳島大学の連携協力協定の締結

日本鍛工株式会社
 ・緑も水辺も育む賞」感謝状贈呈

日本ヒューム(株)での緑化活動
 ・工場緑化を実施

尼崎臨海西部土地区画整理事業(市)
 (平成 23 年度事業終了)

尼崎の森中央緑地の森づくり
 ・第2・第3工区の整備
 ・パークマネジメントプラン
 ・尼崎 21 世紀の森植樹祭の実施
 ・苗木の里親植樹会の実施
 ・野の花スクール「花の守人講座」の実施
 ・茅葺民家の移築
尼崎信用金庫との協定締結
 ・あましん植樹祭の実施

苗木の里親制度への企業参加
 ・尼崎信用金庫、メック(株)、(株)クボタ、(公財) 尼崎地域産業活性化機構、(株)香山組、日鉄住金鋼板(株)、日本山村硝子(株)

丸島地区埋立地施設整備事業(市)

(都)尼崎宝塚線拡幅事業
 (県西宮土木事務所)
 クボタがアドプトで一部緑地を管理

ファミリー武庫川東による緑化
 ・緑化賞の受賞

すき間緑化・環境学習・勉強会の開催
 ・学校(成良中学校)、各種団体との連携、すき間緑化フォーラム等の開催 ほか

GLプロパティーズによる緑化
 ・緑化賞の受賞

まちあるきの実施
 ・環境塾まちあるきの企画・実施、築地地区や、沿道緑化・すき間緑化、ニロック、尼崎の森中央緑地を見学

尼崎 21 世紀の森のサインの設置
 ・沿道緑化を PR するサインの整備

日鉄住金テクノロジーズ株式会社
 ・緑も水辺も育む賞」感謝状贈呈

阪神金属興業株式会社
 ・緑も水辺も育む賞」感謝状贈呈

新日鐵住金(株)による工場緑化
 ・沿道の塀を撤去し植栽
 ・記念植樹を実施
 ・「緑化賞」、「日本緑化センター会長奨励賞」、「まちかどチャーム賞」の受賞

株式会社濱本ジェネラルコーポレーション
 ・緑も水辺も育む賞」感謝状贈呈

株式会社ハーモニクス
 ・緑も水辺も育む賞」感謝状贈呈

産業の育成・支援拠点の分譲(県企業庁・市)
 ・分譲がほぼ完了

コンビニストアの立地(県企業庁)

尼崎鉄工団地でのすき間緑化
 ・尼崎鉄工団地協同組合によるすき間緑化・尼みつの取り組みを実施、緑化賞・あましんグリーンプレミアム環境活動部門賞の受賞
 ・すき間緑化パンフレットの作成
 ・尼崎南部グリーンワークスが、まちかどチャーム賞、人間サイズのまちづくり賞、まちづくり月間国土交通大臣表彰を受賞

尼崎21世紀の森沿道緑化事業
 ・セットバック緑化に取り組む企業等に対して経費の一部を補助(H24 年度事業終了)

「森の会議」の開催
 ・森づくりのプラットフォームを具体化する場を、大庄公民館、北堀キャナルベース、中央緑地パークセンターで開催

緑地面積率等条例の制定
 ・企業立地促進法に基づく基本計画の認定により、市で緑地面積率等条例を制定、運用を開始

尼崎21世紀の森型工場緑化のPR
 ・工場地域におけるみどり景観創出に向けた提案の考え方を具体化する「工場緑化ガイドブック」を作成し、企業等へ周知

広報戦略の展開
 ・NPO 法人尼崎21世紀の森による Aa(フリーペーパー)の発行
 ・ホームページ、facebook の作成
 ・尼崎 21 世紀の森 web マガジンの開設

エコキッズメッセの開催
 ・企業 CSR と環境学習を組み合わせたエコキッズメッセを実行委員会で開催

企業アンケートを実施
 ・尼崎臨海部立地企業の事業活動継続性等をテーマに実施
 ・森構想認知度の調査を実施

◆重点テーマによる取組の分類

緑	環境の回復・創造と美しい風景の創出
オレンジ	活力ある都市の再生
青	産業振興に向けた基盤づくり
ピンク	多様な主体による推進

尼崎の森中央緑地パークセンターオープン
 ・尼崎 21 世紀の森構想推進の先導・中核拠点

阪神南ふれあいフェスティバルの開催

尼海わかめの育成実験
 (徳島大学、大阪湾フェニックスセンターほか)

国際エメックスセンターの干潟実験

埠頭(供用中)

安定型及び管理型区画の埋立竣工

メガソーラー導入(公財)ひょうご環境創造協会

フェニックス事業用地分譲開始(A-1、A-2、A-3 ブロック)

町名の公募・決定
 ・埋立地(東海岸町地先)の町名を公募し、「船出(ふなで)」に決定

フェニックス早期土地利用基本計画を策定

